

支援プログラム(多機能型事業所 Uru)

| 時間 | 活動内容(個別プログラム・集団プログラム) | 療育内容(ねらい) |
|---|---|---|
| 8:30～ | ○朝礼 ○送迎 | ○健康状態の確認をする ○活動の話や日常会話の中でコミュニケーションを図り利用への意欲を高めていく。 |
| 9:00～9:40 | ○来所 ○身支度(荷物の始末、水分補給、排泄、手洗い) ○個別活動 | ○「自立」を目標として、現在できる段階から支援を始める。 ○排せつ、着脱(服、靴、帽子)、手洗い等一人ひとりに応じた支援をする。 ○指先訓練、制作活動、感覚遊び、物の使い方、認知、状況理解等一人ひとりに合わせた支援をする。 |
| 10:00頃～ | ○朝の会 ・挨拶 ・日付確認 ・手遊び ・季節の歌 | ○歌や手遊びを行い、模倣をし言葉や体のイメージ等に意識ができるようにする。 ○返事、挨拶等を繰り返し行い声をだそうとする意識を持たせる。 ○挨拶、日付、天候の確認を行うことにより、実際の生活の勿れの中で場面にあった「ことば」や行動を取得させたり、言葉の理解力をつけさせていく。 |
| 10:15頃～ | ○集団活動 | ○集団活動のなかで決まりがあることを知らせ、社会性、適応性を培っていく。 ○5領域に沿った療育を実施 ○活動の中で、自発性・積極性を養わせるとともに、自己統率力・集中力を育てる。また、友達との触れ合いを深め、より豊かな経験をさせる。 ○様々な動きや遊びにより五感を働かせ感覚運動の発達を高める。 ○必要に応じて機能訓練を受け生活力向上を目指す ○物や形の弁別、用途の理解、文字や数字の理解を促す。 |
| 10:50頃～ | ○身支度 ○帰りの会 ・振り返り ・挨拶 | ○「自立」を目標として、現在できる段階から支援を始める。 ○排せつ、着脱(服、靴、帽子)、手洗い等一人ひとりに応じた支援をする。 ○振り返りをする事で次回への意欲を高める。 ○声をだそうとする意識を持たせ、自分の意思を相手に伝える手段を身に付けさせる。 |
| 11:15頃～ | ○送迎 | ○健康状態の確認をする ○活動の話や日常会話の中でコミュニケーションを図り次回利用への意欲を高めていく。 |
| 12:30～13:30 休憩 | | |
| 児 間 童 に 個 々 よ 々 る の 時 | ○送迎 | ○健康状態の確認をする ○活動の話や日常会話の中でコミュニケーションを図り利用への意欲を高めていく。 |
| | ○学習 ○個別活動 ○集団活動 | ○学習に集中して取り組む ○スケジュールを自ら立て見通しをもつことを意識する ○個々に応じた活動 |
| | ○送迎 | ○健康状態の確認をする ○活動の話や日常会話の中でコミュニケーションを図り次回利用への意欲を高めていく。 |

○年に2回の避難訓練を実施しています。
 ○適宜、(主要実施時期9月、3月)に面談を実施予定となります。
 ○年長児は就学前相談や学校見学へ同行可能です。
 ○事業所内にて個別支援会議やモニタリング会議を適宜実施しています。
 ○保育園、学校等への引継ぎや担当者会議(モニタリング会議)では、日程調整や引継ぎや連携を十分に行っております。
 ○個別活動では、個々の能力に合わせて必要な支援を実施する。(5領域に沿ったプログラムを実施)
 ○集団活動では、集団の中での決まりや過ごし方等に注意しながら活動していく。(5領域に沿ったプログラムを実施)
 ○専門職による「リトミック(音楽療法)」・「ことばの療育(言語聴覚)」・「作業療法(日常動作や生活動作等)」を実施している(適宜情報共有を実施している)。
 ○保育所等訪問支援では、集団生活を営めるように多職種が連携し訪問しております。
 ○家族支援として、保護者の方向けの研修会やイベントを計画しています。